

令和6年度 第11回白山市ミライ会議【概要】

日 時 令和6年8月21日(水)19:00～20:00
場 所 鶴来総合文化会館クレイン 2階研修室
テーマ 【子育て】子育て世代が住みたいまち
出席者 10人〔保育所・認定こども園等の保護者会〕



◆児童センターが新設された経緯を聞いて、今後の参考にしたい

(出席者①)

7月に開設された「あさひ児童センター」の開設の経緯を聞きたいです。小学校から児童館・児童センターの距離が、旭丘小学校より遠いところは、自分が調べただけで石川小学校、千代野小学校、鳥越小学校と複数あるのに、なぜ旭丘小学校が優先されたのか。今後、自分の町内で児童館の設置を要望する際の参考にしたいと思います。

(市長)

石川小学校の前には西南部児童センターがあり、松南小学校は山島台、朝日小学校は鶴来地区の児童センターや児童館を利用してもらう形になります。

児童館や児童センターに関しては、平成31年に「児童館・児童センターあり方方針」を策定しました。旭丘小学校、松陽小学校、鳥越小学校、白峰小学校については、児童だけでは施設の利用が難しいと判断されましたが、旭丘小学校については地元の要望を受け、あり方方針を基に児童館運営委員会と協議を行いました。今後、他の地区の児童館についても、児童館運営委員会で検討していく予定です。

◆金銭的な支援と小児科の休日診療の拡充を

(出席者②)

保護者たちからは、金銭的な余裕がほしいという話を多く聞きます。例えば、小学校の給食費を無償化してほしい、おむつの助成が1回のみでは十分な支援にはならないといった声があがっています。

また、白山市の休日診療については、市内の小児科が少ないうえに、土曜日に診療が行われない空白の時間帯があります。例えば、子どもが熱中症になるなどの緊急事態において、土曜日の午後は休診となっている病院が多く、救急車を呼ぶことが唯一の選択肢となっているの

が現状であり、緊急でない場合は受診するハードルが高い。これは白山市に関わらず全国的な問題だと思いますが、どうにかできないかと考えています。

(市長)

小学校の給食費については、ここ数年の物価高騰分の数千万円を市が負担しています。無償化したいとは思っていますが、医療費の無償化に年間数億円ほどかかるほか、小学校1年生の学級人数を30人にするために職員を雇用し、全小学校に図書館司書を配置するなど、様々な取り組みも行っているため、給食費の無償化については財源の確保等を検討しているところです。

また、おむつの無料券は現在 24,000 円のクーポンを出生届提出の際に出しています。タイミング、頻度などを見直し、小分けにする案も検討していますが、今のところはこの形でお願いしたいと思います。

医療機関については、急な発熱や感染症が心配される小さなお子さんがある家庭のため、金沢を中心に各市町が協力して「金沢広域急病センター」をつくり、年中無休で対応できる体制を整えています。白山市だけで対応できればいいのですが、小児科不足は全国的な問題であり、難しいのが現状です。何かあった場合に備えて、かかりつけ医をしっかり決めておくことも大切だと思います。

(出席者②)

ここ数年、コロナの影響もあり、発熱患者と窓口を分ける必要が生じたことで、さらに忙しくなり、対応が難しくなっている部分もあると思います。そうした中で、改善は難しいとは思いますが、行政にも現状や実態を正しく把握してもらいたいと考えています。

(市長)

市としても、医師会と話す機会に、こうした現状を伝えていきたいと思っています。

◆保育園から高校までアプリを一元化すれば無駄を省けるのでは

(出席者③)

最近、子どもが通う保育園で保護者向けの連絡アプリが導入され、上の子が通う小学校でも似たアプリが導入されています。園や小学校それぞれ異なるアプリを使うため、保護者としては情報の確認に手間がかかる状況です。市がアプリを一元化するような方針を出してくれないかと考えています。

(保育こども園課長)

現状では、園、小学校とそれぞれで導入しています。システム上の問題と個人情報の問題から、共有するのは難しいと考えています。

(出席者③)

教育というカテゴリーの中で、保育園から小学校に進む際、子どもを見守る範囲は変わらな

と思うので、保育園から高校までアプリを一元化できれば無駄が減らせるのではないかと思います。窓口が増えるほど、見る頻度が減ってしまい、機能しなくなるのは残念です。

(市長)

実際の窓口については、子育て支援や相談の窓口を「こども家庭センター」という形でこども総合相談室にまとめる取り組みをしてきました。今のお話を聞いて、アプリ等の窓口の一元化ができれば良いと思います。子どもが成長するに従い、保育所やこども園、小学校、中学校、そして高校へと運営母体が変わりますが、せめて市内の小中学校は横の連携を図ることで同じようなシステムを導入できる可能性はあります。ただ、現在使っているものを変更するのも、また違った難しさがあります。アプリの導入によって、学校への欠席の連絡、配布物など改善したものは多いです。なるべく保護者の負担を減らす形での改善ができないか考えていきたいと思います。

◆小学校の子どもがいる家庭に流れる不審者情報 園でも共有してもらいたい

(出席者④)

小学校では不審者情報がよく共有されているらしいのですが、保育園ではそうした情報があまり共有されていません。保育園のアプリや市のLINEアカウントには登録しているものの、得られるのはクマ情報などで、不審者情報は含まれていません。治安がよいと思っていたのですが、実際は小学校の子どもがいる家庭が知っている情報ということで、なんらかの方法で不審者情報を入手できないかと考えています。

(保育こども園課長)

不審者情報は、市のメール配信で流していますが、LINEでは流していません。クマ情報は園などにはタイムリーに情報を発信しています。

(事務局)

現在、LINEのシステムを改修しており、10月から新たにLINEの受信者設定を追加します。これにより、利用者が受信したい情報をカテゴライズして選択できるようになるため、不審者情報など、これまで投稿数が多くなるため出していなかったお知らせも、整理して発信できるようになる予定です。ぜひご利用ください。

◆人口減少・少子化が著しい白山ろく 若い世代を呼び込める施策を期待

(出席者⑤)

白山ろく地域では、人口減少や少子化の影響が強く出ています。現在は、子育てしやすい環境なのですが、将来的には確実に子どもがいなくなる気がします。若い世代を誘致する施策があるか知りたいです。今の定住支援制度だけでは、徐々に減っていく一方で、いずれ保育園や学校がなくなると、現在の子育てしやすい環境が失われてしまいます。人を呼び込める場所にできる事業が増えることを期待しています。

(市長)

白山ろく地域への定住奨励金として100万円を支給する施策を行っていますが、移住が進んでいるとは言い難い面があります。昨年のミライ会議で山ろくに伺った際も、過疎化、少子高齢化に対する心配の声があがっていました。仕事の関係もあってか、普段は野々市市に住んでいて、週末やイベントで山ろくに帰ってきているという若者もいました。山ろくから通える立地での工業団地の整備・誘致、アクセス向上のための道路整備を進めていきたいです。市内には南北に太い道路はありますが、山ろくや鶴来から東西へ向かう道路整備については今後の課題として検討していきたいです。

(出席者⑤)

通勤通学の足がなく、バスなどの本数も少ない現状にあって、過疎が進むことでバスの本数がさらに減少すると、高校への通学が難しくなることを心配しています。交通の便をなるべく狭めないでほしいと願っています。

(市長)

交通の便については、北陸鉄道石川線は朝夕に一定の利用があるものの、全体的には利用者が減少しており、北陸鉄道は困難な状況に直面しています。市としても、石川線が存続するように支援していきたいと思っています。バスに関しても、利用者の減少が続けば本数も減っていくことになるため、市は交通手段が完全になくならないように努めていきたいと思っています。

(広報広聴課長)

白山ろくに住む高校生のいる家庭には、通学にかかる費用の一部助成もありますので、ぜひ今後活用してください。

(出席者⑤)

私は過去に別の自治体の過疎地に住んでいましたが、そこでは交通手段が次第に減少し、通学に対する不安から、行きたい学校があっても、高校の選択肢が限られてしまった経験があります。そういったことが白山ろくで起きないようにしてほしいです。

(市長)

他地域では学校の統廃合を進めている自治体もありますが、白山市においては、学校はできる限り今の形で運営していきたいと思っています。

◆一時的に必要となる育児用品のレンタルサービスなどの支援があれば嬉しい

(出席者⑥)

ベビーベッドやチャイルドシートなど、一時的に必要となる育児用品のレンタルができればいいと思います。子どもの成長に応じて、常に必要なわけではないものでも、特定のタイミングで必要になることが多いため、そのような支援があると嬉しいです。

◆地域コミュニティの活動で、住みやすいまちを実感

(出席者⑦)

自分は蔵山地区に住んでおり、非常に住みやすいと感じています。子どもが通う幼稚園でもアプリが導入されていて、お花見のイベントのお知らせや動画配信が行われており、とても喜んでいます。

また、自分は地域のコミュニティセンターにも関わっているのですが、新しいイベントが開催されたり、新たな祭りも始まったりするなど、良い街だと感じています。行政が迅速に防災倉庫を設置してくれたことにも感謝しています。

(出席者①)

一昨年、地域の役員としてコミュニティ組織の立ち上げに関わりました。組織の予算が40万円ほどに対し林中地区の人口は 4000 人なので、1 人あたり100円の予算で、どのような活動ができるのか、かなり苦慮しました。

(企画振興部長)

昨年まで、公民館事業費が施設管理の委託費として市から支払われ、さらに地域づくりのために 50 万円を支給していました。今年度からはこの 50 万円に加え、人口 1 人あたり 30 円の交付金が追加され、地域ごとに必要なものを自由に決めて使える制度に変更しました。昨年と比べて予算を使いやすくなっていると思いますので、ぜひ活用していただきたいです。

◆現状の市の取り組みを知ることで、子育ての心理的なハードルが下がるのでは

(出席者⑧)

説明された市の取り組みの中で、知らないことが多々あり、これを知ることによって子育てに対する心理的なハードルが下がり、結果として少子化対策にもつながるのではないかと思います。こうした情報の一覧は他の場所でも見ることができますか。

(事務局)

7月から新たに子育てポータルサイトを開設しました。これまで健康福祉に関する情報として年代を問わず提供していたものを、子育てをしている保護者目線で必要な情報を集約しました。この中で現状の取り組みを紹介していく予定で、今後サイトの周知に努めたいと思っています。

◆市内や山ろくに屋内の遊び場をつくり、厳しい夏の暑さ対策と地域魅力向上に

(出席者⑤)

年々気温が上昇していて、子どもが外で遊ぶには厳しく感じます。そのため、屋内の遊び場を求めて金沢市や野々市市に行くことが多いです。市内や山ろくにそういった施設があれば、子どもたちがより過ごしやすくなるだけでなく、この辺りに住もうという考えにもなると思います。

(出席者②)

トレインパークについて言えば、どの年齢を対象にしているのでしょうか。対象年齢が小学生には少し低いと思いますが、小さい子どもだと逆に安全面で不安があり、どの年齢層を遊ばせたらいいのか迷ってしまいました。年齢層によって分けたり、加賀市のように大きなネットで広い場所を確保したりする形でもいいのではないかと感じました。

(市長)

トレインパークは本来、新幹線の施設なのですが、雨が降った時の子どもの遊び場がほしいという要望が多かったため、子どものためのスペースを確保しました。新幹線の施設としての本来の在り方を考えると、どっちつかずになってしまった面もあるかもしれません。そういう意味でも、ほかの市町で作った施設を参考にしたいと思います。雨天や猛暑の際に、近くにそういった施設があると利用しやすいとは思いますが。

◆女性が子育てしながら働きやすい環境づくりを

(出席者⑨)

非正規職員の保育士として働いています。子育て中のため色々配慮してもらっている部分がありますが、どこの保育所でもフルタイムで働いている職員は少ないと思います。そのため、正規職員に負担がかかり、結果として結婚や子どもが生まれる際には辞めてしまうケースや、一度パートになると正規職員への復帰が難しくなることが多いと聞きます。これは保育士だけではなく、家庭を持つ女性全般に言えることで、子どものために働きたくても働けない状況にあると思います。子どもが小学校低学年になるまで時短勤務ができるようにするとか、看護休暇を増やすなど、行政による支援が必要だと考えます。

(市長)

子育て環境だけではなく、働く環境も整備していきたいと思います。白山市ではワークライフバランスを促進し、仕事環境の改善に取り組む企業を表彰する取り組みを行っています。しかし、今言われたような時短業務や看護休暇にはまだまだ難しい部分があります。市の保育士についても、正規職員を増やしていきたいと思っています。

◆若い人が山ろくに戻ってくるような施策を

(出席者⑩)

山ろく地域では子どもの数が少なく、自分の子どもの同級生は2人ほどしかいません。子どものためにも、少子高齢化対策が進めばいいと思いますし、若い世代が山ろくに戻ってくるための施策が増えることを期待しています。

(市長)

住みやすさについては、数値化されたランキングだけでなく、生の声はとでも大事だと感じています。数値には表れない問題が多々あることを、今日お伺いすることができ、地域の活性

化について考える必要性も感じました。

最近、地区のお祭りなどに参加させてもらっていますが、地域が盛り上がっている中で、子どもたちが笑顔で楽しんでいる姿を見て、とても微笑ましく、そうした環境で子どもたちが育ってほしいと思い、地域のコミュニティ作りの重要性を再認識しました。皆さんは子育て中で大変だとは思いますが、ぜひ積極的な協力をお願いします。